

はじめに :

私は学生時代、旅行や語学研修（4週間）くらいしか海外経験がなく、学校の授業やテスト、受験を中心に英語を勉強していました。外国語大学英米学科を卒業し、TOEICも満点を達成しましたが、「映画を字幕なしで理解できない」「ネイティブと雑談できない」という壁は越えられていませんでした。

そこで今から10年前、英語字幕を表示して洋画のセリフを徹底的に調べるという独自のトレーニング「洋画DVD100本斬り」を皮切りに、教材を「問題集」や「試験」から「洋画」「海外ドラマ」へと移したのです。

これは、「ネイティブの日常会話を徹底的に学べる」という点で、おそらく海外生活に匹敵するほどの効果がありました！

日本語でもそうですが、やはり「書き言葉」と「話し言葉」は違います。会話ならではの定番表現は会話の中からしか学べません。読解や和訳にかたよった勉強をしていると、「いざ会話」となったときにまったく話せず愕然とする……ということが起こります。

本書では、私がこの10年間で書き溜めたメモを元に、実際の会話で役立つフレーズと、「これは！」と思った発見の数々を、余すところなくご紹介します。

最大の発見は、「ネイティブの日常会話は簡単な単語の連なりである」ということ。

日常会話では、make、let、have、get、askなど、私たちが中学校で習ったような単語が大活躍しています。会話力をアップしたいのなら、難解な語彙を増やすよりも、まずは基本的な単語を使いこなせるようになるのが近道です。

そのためには、単語を一对一の和訳で丸暗記するのはNG。

「apple=りんご」「dog=犬」くらいなら一对一で置き換えても問題ないでしょうが、多くの単語、とくに動詞などは一对一で割り切れないものがほと

んどです。似たような意味の単語があっても、カバーしている意味の幅やニュアンス、使い方が違うのです。

本書では、使用頻度の高い定番の動詞55と基本の前置詞22を、イラストとイメージで解説しています。また、合計1,000以上もの例文を音声付きで収録しました。単語をネイティブに近い感覚で使いこなせるようになるには、次の2点がポイントだと考えているためです。

1. 和訳ではなくイメージでとらえる
2. 大量の例文に触れる

ぜひ本書を活用して、これまで当たり前に知っている・使えると思っていた基本単語を見直してみてください。きっと新たな発見があるはずです。

最後になりましたが、「日本語が堪能なネイティブ」の視点で本書の内容を入念にチェックし、貴重なアドバイスをくださったNick Jones氏にこの場を借りて心よりお礼申し上げます。※Nick先生はTwitterで日々有益な情報を発信されています(実用英語 @jitsuyoueigo)。

私自身もかれこれ4年間、日記の代わりに毎日英語でつぶやいています(@romyscafe)。

Take it easy and let's have fun using English!

基本単語を使いこなして、英語をもっと気軽に楽しみましょう。

2014年4月末日

有子山博美